

# [展覧会] クイズ チャレンジ①



滋賀県立琵琶湖文化館地域連携企画展  
滋賀県立安土城考古博物館第65回企画展

## 伝教大師最澄と天台宗のあゆみ



伝教大師像（觀音寺蔵）

### 地域連携企画展 [ 安土城考古博物館スペシャル ]

展覧会に関する“あれこれ”について、クイズにしてみました。是非チャレンジしてみてください！

#### 問題①

さいちょう 最澄によって開かれた日本天台宗は、密教や禪などの様々な教えを取り  
こんぽん 込んだ 総合仏教ですが、その根本（中心）となるお経は、

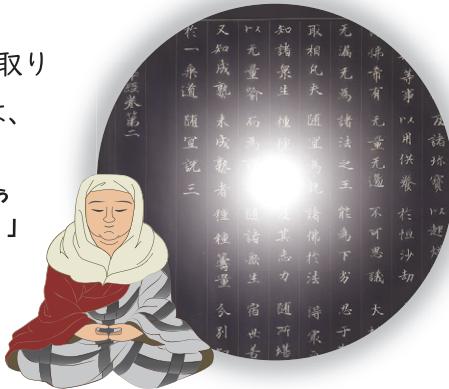
ズバリ何でしょうか？



#### 問題②

でんぎょうだいし しょうらいもくろく  
出品作品「伝教大師将来目録」、これには何が書かれているでしょうか？

- ① 最澄が、将来やってみたいことのリスト
- ② 最澄が、未来を占った予言のリスト
- ③ 最澄が、中国から持ち帰ったもののリスト



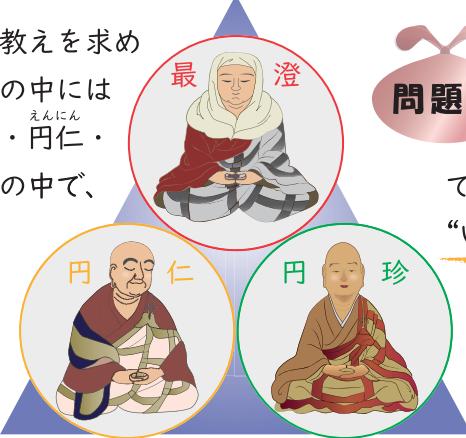
#### 問題③

とう  
日本から中国の唐へ仏教の教えを求め  
ぐほう そうりょく  
求法の旅に出た僧侶達。その中には  
てんだい さんそ  
「天台三祖」とよばれる最澄・円仁・

えんちん  
円珍らがいます。では問題。この3人の中で、  
とう  
唐にいた期間が一番長かったのは、

ズバリ誰でしょう？

- ① 最澄（さいちょう）
- ② 円仁（えんにん）
- ③ 円珍（えんちん）



#### 問題④

さいちょう だいし  
「最澄」といえば「伝教大師」  
えんにん じかく だいし  
「円仁」といえば「慈覚大師」  
えんちん ちしょう だいし  
「円珍」といえば「智証大師」

では問題。この「〇〇大師」という呼び名は、  
“いつ”付けられたでしょうか？

- ① 中国（唐）へ行った時
- ② お葬式の時
- ③ 死くなつて隨分経つてから

## 滋賀県立琵琶湖文化館

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先

TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634

E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp

ウェブサイト / http://www.biwakobunkakan.jp

クイズの答えは、是非展覧会の会場で  
ご確認ください！

～会場出口付近に答えが掲示されています～

[会期] 令和4年2月5日(土)～4月3日(日)

[会場] 滋賀県立安土城考古博物館

近江八幡市安土町下豊浦6678



文化館のマスコットキャラクター  
トントンボのあきちゃん

# 「伝教大師最澄と天台宗のあゆみ」展がよくわかる年表

西暦	年号	できごと	日本	中国
767	神護景雲元	8月18日、 <b>最澄</b> 、近江国に誕生（766年説もあり）。		618
783	延暦 2	1月20日、近江国分寺の得度僧として <b>最澄</b> の名を登録し、14歳で度縁を賜る。 ※得度（とくど・仏教への入門） ※度縁（どえん・僧になることを許可する交付証）	784年 長岡京遷都 〔奈良時代〕	
785	延暦 4	4月6日、 <b>最澄</b> 、奈良の東大寺で具足戒を受け、國家公認の僧侶となる。7月中旬、比叡山に登り草庵を結び「願文」を記す。※具足戒（ぐそくかい・正式な僧侶として守らなければならない行動規範）※願文（がんもん・神仏に願を立てるとき、その趣旨を記す文）		
788	延暦 7	<b>最澄</b> 、一乗止觀院（後の根本中堂）を創建し、自ら刻んだ薬師如来を安置して不滅の法灯を掲げる。経蔵を建立する。	794年 平安遷都 〔平安時代〕	
802	延暦21	9月上旬、 <b>最澄</b> 、桓武天皇に入唐求法を請願し、同月中旬に還学生と認められる。 ※還学生（げんがくじょう・短期間の求法僧）		
804	延暦23	7月、 <b>最澄</b> 、遣唐使船に乗って出発。（4隻で構成された遣唐使船のうち、中国に無事たどり着いたのは2隻のみ。最澄とは別の船には後に真言宗を開いた空海が乗船。） 9月、 <b>最澄</b> 、明州鄧県に上陸。10月、天台山に登り国清寺に入る。仏隴寺の行滿から付法82巻を受ける。脩然から禪を受法する。		唐
805	延暦24	2月、 <b>最澄</b> 、将来目録（台州録）を記し認可を得る。3月、円頓大戒（大乗菩薩戒）を受ける。 4月越州龍興寺の順暁より三部三昧耶の灌頂を受け、真言密教の「付法文」を受ける。 5月「将来目録（越州録）」を撰し、認可を得る。5月中旬、明州を出発し、6月、帰国。		
806	延暦25	<b>最澄</b> 、『法華經』に基づいた「すべての人が仏になることができる」という天台の教えを日本に広めるため、天台法華円宗の設立許可を申請。1月26日、比叡山寺に2名の年分度者が認められ、天台宗が公認される。※年分度者（ねんぶんどしゃ・毎年試験を行い一定数を限って出家を許された者）		
811	弘仁 2	7月17日、 <b>最澄</b> 、朝廷に将来目録を提出する。		
815	弘仁 6	<b>最澄</b> 、東国に教えを広める。美濃、信濃の国境に広済院・広拯院の2院を立てる。上野と下野に法華經二千部を安置する宝塔を建立する。		
822	弘仁13	6月4日、 <b>最澄</b> 、中道院にて入寂（56歳）。同月11日付けて「大乘戒壇」の設立の勅許が下る。		
823	弘仁14	2月26日、嵯峨天皇より「延暦寺」の寺号を賜る。		
838	承和 5	<b>円仁</b> 、請益僧として入唐。求法の旅は承和5年から14年まで満9年に及ぶ。		
847	承和14	<b>円仁</b> 、五台山や長安を経て、密教、声明、淨土念佛などを修め帰国。		
848	嘉祥 元	<b>円仁</b> 、横川首楞嚴院（横川中堂）を創建する。		
853	仁寿 3	<b>円珍</b> 、入唐。		
854	仁寿 4	<b>円仁</b> 、第3代天台座主となる。この頃より、東塔に台密の根本道場となる法華総持院を10年がかりで建立し始める。		
858	天安 2	<b>円珍</b> 、天台山や長安を経て帰国。		
859	貞觀 元	<b>相応</b> 、葛川谷に回峰修験の別院として葛川明王院を建立する。		
861	貞觀 3	<b>円仁</b> 、文殊樓を建立する。日本における五台山文殊信仰の先駆けとなる。		
862	貞觀 4	<b>円珍</b> 、園城寺の別當となる。		
864	貞觀 6	<b>円仁</b> 、入寂（71歳）。 <b>最澄</b> ・空海に法印大和尚位を追贈する。		
865	貞觀 7	<b>相応</b> 、無動寺明王堂を建立、回峰修験の根本道場となる。		
866	貞觀 8	7月14日、 <b>相応</b> の奏請により清和天皇から <b>最澄</b> に伝教大師、 <b>円仁</b> に慈覺大師の諡号を賜る。大師号を送られたのは最澄が日本初。※諡号（しごう・貴人や高徳の人に、死後おくる名前。おりな。）		
868	貞觀10	<b>円珍</b> 、第5代天台座主となる。		
887	仁和 3	<b>最澄</b> が建立した一乗止觀院（薬師堂・経蔵・文殊堂の三棟、根本中堂）を九間一棟の大堂に改修。 <b>円珍</b> の上表により、大比叡神・小比叡神に各一名年分度者が充てられる。	894年 遣唐使廃止 かな文字の発達	907 五代 960
891	寛平 3	<b>円珍</b> 、入寂（78歳）。		
927	延長 5	<b>円珍</b> に醍醐天皇から智証大師の諡号を賜る。		
966	康保 3	8月27日、 <b>良源</b> 、第18代天台座主となる。		
972	天祐 3	横川が東塔から独立し、比叡山の三塔（東塔、西塔、横川）が確立する。		
980	天元 3	根本中堂を十一間に改修し、廻廊・中門を加え、現在と同規模となる。		
985	永觀 3	正月3日、 <b>良源</b> 、入寂。この頃、 <b>源信</b> 「往生要集」を執筆する。		
987	寛和 3	一条天皇から <b>良源</b> に慈惠大師の諡号を賜る。 <b>元三大師</b> とも尊称される。		宋（北宋）
988	永延 2	<b>源信</b> 、「往生要集」を宋の周文徳に託して中国天台山に送る。		
1001	長保 3	<b>源信</b> 、横川に華台院と靈山院を建立し、「迎講」や「釈迦講」を催す。		
1005	寛弘 2	藤原道長、「往生要集」を書写させ、愛読する。		
1017	寛仁 元	<b>源信</b> 、入寂（76歳）。		1127

# 知るは楽しい！琵琶湖文化館

## [展覧会] クイズ チャレンジ① [解答・豆知識 編]



① 答え

### 〔① お釈迦さまの教えをまとめた「法華経」〕

妙法蓮華経（法華経）は、天台宗の根本經典です。天台宗は、元は中国の天台山で智顥（天台大師・538-598）を実質的な開祖（高祖）として成立し、『法華経』と『涅槃経』を中心に教義を組み立てて成立していました。

近江に生まれた最澄は、若かりし日に智顥が確立した思想に触れ、法華経学、天台教学に目覚めます。そして唐への留学で学んだ密教や禪などの教学も取り入れつつ、法華経を根本とした日本天台宗を開きました。日本天台宗は、当時、正式には「天台法華宗」といいました。

それぞれの美しさも見比べて欲しい！

ほけきょう

### 〔② 重文「紺紙銀字法華経」〕

No.20 重文「紺紙銀字法華経」

No.21 重文「紺紙金銀交書法華経」

No.33 県指定「法華経」

No.34 県指定「紺紙銀字法華経」



### 〔③ 「天台大師像」〕

智顥は、頭の上に精神を集中させるための器具（禪鎮・ぜんちん）をのせて座禅を組んでいます。全集中…!!



② 答え

### 〔③ 最澄が、中国から持ち帰ったもののリスト〕

天台宗では、最澄をはじめ入唐した祖師たちが中国から日本に經典等をもたらしたことを「将来」と呼び、真言宗などでは「請來」と呼んでいます。日本天台宗は、宗祖最澄が遣唐使の一員として入唐して教えを授かるとともに、中国から經典や仏具等を「将来」することによって成立しました。

### 〔④ 伝教大師将来目録〕

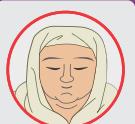
天台山から日本への持ち出しを許可された經典類の目録である「台州錄」、越州から密教經典や法具の持ち出しを許可された目録「越州錄」に併せて、帰国後にそれら目録を朝廷へ提出した「進官錄上表」などが記されています。



③ 答え

唐にいた期間が一番長かったのは？

### 〔② 円仁（えんにん）〕



約1年

〔804年7月～805年6月〕  
第18回遣唐使団

最澄

円仁

円珍

約9年

〔838年～847年〕  
第19回遣唐使団

約5年

〔853年～858年〕  
商人の船にのって入唐

### 〔年表からの問題〕

最澄さんだからサイチヨー（最長）…  
ぢやなかつたんだ…ね！



④ 答え

〔③ 「亡くなつて隨分経つてから」〕

822年に亡くなつて 44年後 (866年)  
清和天皇から「伝教大師」  
の諡号（おくり名）を賜つた

864年に亡くなつて 2年後 (866年)  
清和天皇から「慈覚大師」  
の諡号を賜つた

891年に亡くなつて 36年後 (927年)  
醍醐天皇から「智証大師」  
の諡号を賜つた

最澄

円仁

円珍



滋賀県立琵琶湖文化館

ウェブサイト / <http://www.biwakobunkakan.jp>

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜地先

TEL / 077-522-8179 FAX / 077-522-9634

E-mail / biwakobunkakan@yacht.ocn.ne.jp